

令和7年度琴清苑事業報告・決算報告(抜粋)

総括

今年度は、安定した施設運営の基盤構築、ご利用者の権利擁護を軸とした「安心・活気ある生活の提供」と「時代の変化に応じた柔軟なサービス体制の確立」に注力いたしました。まず、運営面においては、各部署間での緊密な情報共有と毎月2回の入所調整会議の開催を徹底してまいりましたが、目標として掲げた「稼働率96%以上の維持」については、上半期におきまして前年度末から退所者数が増えたことにより、新規入所受け入れの調整が難航した時期が続き、結果として空床期間の解消が遅れ、目標とする稼働率を下回る月が続きました。しかし、下半期は、この状況を打破すべく、入所調整会議において医療依存度が高いなど様々なニーズのご利用者の受け皿となれるよう連携を強化し、入所調整のプロセスを徹底的に見直した結果、稼働率を回復させ、目標水準での安定的な維持を実現することができました。生産性向上の取り組みについては、既存の介護ソフトの1月末での契約更新に伴いまして、東京都デジタル機器導入促進事業補助金の申請を行い、新しい介護ソフト「ワイズマン」の導入に向けて着手いたしました。あわせて、停滞していた各種委員会の活動を再開し、年度を通して積極的な施設内研修を開催する事が出来ました。委員会活動を通じた継続的な啓発と現場点検を実施し、ご利用者一人ひとりの尊厳を守り、安心安全な環境を維持するための意識が全職員に浸透しています。今後もサービス生産性向上委員会を中心にICTの活用や生産性向上についての検討・導入を進め、職員の業務負担軽減とケアの資質向上を両立させる体制整備に努めてまいります。令和7年2月からの外出・外泊制限の緩和、および施設見学の積極的な受け入れは、ご利用者やご家族から高い評価をいただき、地域に開かれた「新しい琴清苑」の姿を広く発信する契機となりました。感染症対策についても、標準予防策の励行と職員の徹底した体調管理により、業務制限を最小限に抑え、安定したサービス提供を継続することができました。今後もこの成果を維持しつつ、より一層のサービス向上に努めてまいります。

※ 詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録	
令和8年3月31日	
資産・負債の内訳	琴清苑
I 資産の部	***
1. 流動資産	***
流動資産合計	199,780,733
2. 固定資産	***
固定資産合計	1,326,090,756
資産合計	1,525,871,489
II 負債の部	***
1. 流動負債	***
流動負債合計	39,974,676
2. 固定負債	***
固定負債合計	418,534,862
負債合計	458,509,538
差引純資産	1,067,361,951

拠点区分貸借対照表		
令和8年3月31日		
	琴清苑会計	
	借 方	貸 方
流動資産	199,780,733	
固定資産	1,326,090,756	
資産の部合計	1,525,871,489	
流動負債		39,974,676
固定負債		418,534,862
負債の部合計		458,509,538
基本金		210,550,201
国庫補助金等特別積立金		714,722,901
その他の積立金等		70,000,000
次期繰越活動収支差額		72,088,849
純財産の部		1,067,361,951
負債・純財産の部合計		1,525,871,489

拠点区分資金収支計算書		
(自)令和7年4月1日 (至)令和8年3月31日		
勘定科目		琴清苑会計
決算 の 状 況	事業活動	事業活動収入計① 456,288,727
		事業活動支出計② 430,062,014
		事業活動資金収支差額③(①－②) 26,226,713
	施設整備	施設整備等収入計④ 0
		施設整備等支出計⑤ 19,206,544
		施設整備等資金収支差額⑥(④－⑤) -19,206,544
	その他活動	その他の活動収入計⑦ 3,228,992
		その他の活動支出計⑧ 3,072,853
		その他の活動資金収支差額⑨(⑦－⑧) 156,139
		予備費(⑩) 0
当期資金収支差額合計⑪＝③＋⑥＋⑨－⑩		7,176,308
前期末支払資金残高⑫		169,335,693
当期末支払資金残高⑬(⑪＋⑫)		176,512,001

※ 会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。